

アプリケーションの検出とブロック

シャドー IT の課題

見えないものを有効化したり、管理したり、保護したり、ブロックしたりすることはできません。

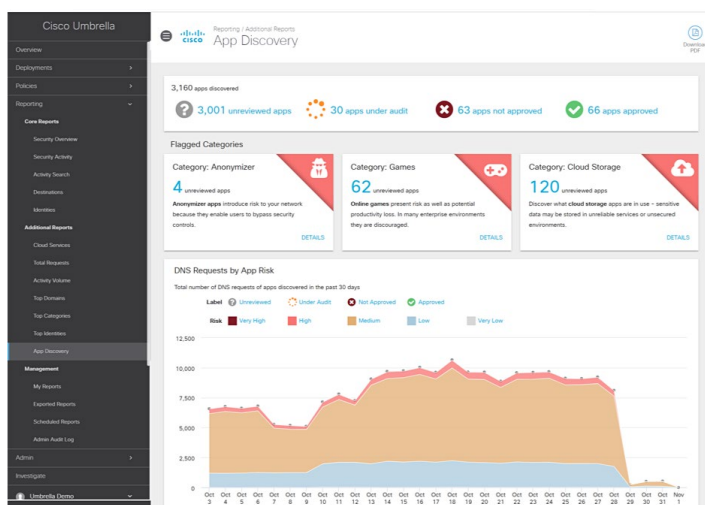
組織、部門、および個人ユーザはいずれも、生産性を向上させるために新しいクラウド アプリケーションを活用しています。しかしそれらの大部分は、IT 部門やセキュリティ部門が関与することなく導入されています。その結果、IT 部門が認識していない数百のクラウド アプリケーションが利用され、大規模なシャドー IT の課題が生じています。組織的なクラウド対応戦略が策定されていなければ、生産性、費用、セキュリティ、およびサポートに関する広範な問題が発生します。安全かつ組織的にクラウドを導入するには、クラウドのアクティビティに対する完全な可視性と好ましくないアプリケーションをブロックする機能が必要です。

アプリケーションを特定するだけでは、真の可視性は得られない

最初のステップは、組織で使用されているアプリケーションをすべて特定することです。しかし、それだけでは不十分です。アプリケーションのベンダーや機能、アプリケーションにアクセスしているユーザの数、要求の量、およびアプリケーションがもたらすリスクのレベルも把握する必要があります。

Umbrella のログ ファイルを活用してシャドー IT を可視化

シスコでは Umbrella と Cloudlock の製品を統合することで、ユーザがアクセスしているクラウド アプリケーションを DNS ログから検出できます。Umbrella のユーザ インターフェイスでは、Cloudlock の App Discovery ダッシュボードと、既存の Umbrella の DNS アクティビティに基づくドリルダウン レポートの両方を含めることが可能です。



概要とトレンド情報

App Discovery ダッシュボードには、アプリケーション要求数のパターンと経時的な変化がわかるように、日付およびリスクレベルごとの要求数の概要が表示されます。直近に検出された未確認のアプリケーションは、簡単にアクセスできるようにハイライト表示され、各主要カテゴリのアプリケーションの数がわかるチャートとリスクレベルごとの内訳が示されます。これらのサマリ チャートでは、ポイント アンド クリック操作でカテゴリや各アプリケーションの詳細情報にアクセスできるため、一般的な管理者のタスクが簡素化されます。

主な導入例

- Umbrella のログでネットワーク全体のクラウド アプリケーションおよびサービスの使用量を可視化する
- 環境内のリスクの高いアプリケーションをカテゴリごとに特定する
- ベンダーとアプリケーションに固有の属性を組み合わせ、各アプリケーションのリスク レベルを評価する
- ベンダーのコンプライアンスと認定のステータスを示す
- カテゴリ ベースのレポート、ユーザ データ、およびリスク スコアを使用して最適化を進め、決定を許可する
- 既存のアプリケーションの要求を監視して新しいアプリケーションを検出し、クラウド アプリケーションの無秩序な増加を抑える
- 望ましくないアプリケーション カテゴリ、または個別のアプリケーションをブロックする

特定のアプリケーションレベルのビュー

Apps Grid レポートには、アプリケーション名、ベンダー名、カテゴリ、重み付けしたリスク レベル、ユーザ数、要求数、現在のステータスなど、検出された全アプリケーションの主要な詳細情報が含まれます。このレポートは、カテゴリ、リスク レベル、またはユーザ数別のグループに分け、組織やクラウド導入の管理に役立つより詳細な分析を提供できます。

アプリケーションの詳細で設定できます

既存のアプリケーションが数百種類あり、定期的に新しいアプリケーションも導入している組織では、主要なベンダーとアプリケーションの詳細を自動的に確認し、リスク要素やコンプライアンス証明書を比較する必要があります。また、監視やポリシー策定、インシデント調査の観点から、どの ID でどのアプリケーションが使用されているのかを確認することも重要です。このような情報は、上記のダッシュボードや App Grid レポートからアクセスできるアプリケーション詳細ページで提供されます。これにより、既存の環境でどのクラウド アプリケーションを承認すべきかについて、情報に基づいた意思決定を下せます。

| Application | Vendor | Weighted Risk | Identifiers | DNS Requests | Blocked | Label |
|---|---------|---------------|-------------|--------------|---------|------------|
| 123RF Cloud Storage | 123RF | Medium | 2 | 11 | - | Unreviewed |
| 4shared Cloud Storage | 4shared | Medium | 1 | 4 | - | Unreviewed |
| Amazon Drive Cloud Storage | Amazon | Low | 1 | 2 | - | Unreviewed |
| Amazon S3 Cloud Storage | Amazon | Medium | 8 | 35,385 | - | Unreviewed |
| Amazon S3 Transfer Acceleration Cloud Storage | Amazon | Low | 2 | 610 | - | Unreviewed |
| Apple iCloud Cloud Storage | Apple | Medium | 4 | 66,187 | - | Unreviewed |
| Box Cloud Storage | Box | Medium | 4 | 29,736 | - | Unreviewed |

アプリケーションのブロック

組織内で使用されている全アプリケーションを可視化し、使用量とリスク レベルの詳細を把握した後のステップは、クラウド導入戦略やセキュリティ戦略に一致しないアプリケーションをカテゴリ単位または個別にブロックすることです。Umbrella のブロック機能を使用すれば、アプリケーションをカテゴリ単位または個別に選択し、すべてのユーザ、特定のグループ、個人、またはネットワークごとにブロックできます。

健全かつ効率的なクラウド導入の実現

ユーザは、コラボレーションを強化して生産性を向上させるためにクラウド アプリケーションを積極的に導入しています。このようなアクティビティは多くのメリットがあるため促進すべきです。ただし、クラウド アプリケーションの使用量を継続的に監視してベンダーやアプリケーションを比較し、アドバイスを提供したり管理したりできる機能を確保する必要があります。許可されているアプリケーションと許可されていないアプリケーションを記載したリストがあれば、クラウド アプリケーションの使用量をインテリジェントに管理し、エンド ユーザが新しいアプリケーションを導入する際にサポートできます。

シスコが選ばれる理由

シャドー IT を可視化できる広さと深さ。アプリケーション検出機能は、ネットワークを介してアクセスするアプリケーションを完全に可視化します。Cisco Cloudlock Apps Firewall は OAuth 接続アプリケーションを検出して制御します。クラウド アクティビティ全般を完全に可視化できるため、リスクを最小限に抑えながらインテリジェントにクラウドを導入するのに必要な分析情報を得られます。

クラウド ネイティブ。Cisco Umbrella と Cloudlock は、短時間で展開してすぐに価値を実現できるうえ、エンド ユーザのエクスペリエンスを損なうことがない、自動化された使いやすいクラウド ネイティブ ソリューションです。

シスコのエコシステム。シスコは、幅広いソリューションのプラットフォームと他にはないベンダーのサポートにより、クラウド セキュリティに対する統合型のアーキテクチャ アプローチを提供します。